



## 1期4年の実績ピックアップ

この4年間、放課後の子どもたちの安全な活動拠点を提供するため、「にこにこすくーる事業」の全校実施に力を入れてまいりました。

にこにこすくーる事業とは

実施小学校に在籍する全児童に対し、遊びを始め、勉強やスポーツ、文化活動などの交流を図る事業です。



4年前は7校の実施であった本事業も本年度は14校で実施、来年度は17校、そして平成28年度には区内全24校で実施する予定となっています。

また、「学童クラブ事業」との連携を図る「放課後子ども総合プラン」により、多様な体験プログラムを提供することも決定しています。

待機児童対策や小中学生1人1台体制のタブレットPC導入など、教育・子育て支援に力を入れてきた結果として、荒川区の子育て世代がこの4年間で増加しました。

老年人口(65歳以上の人口)比率も23区では3位から5位へと低下しています。

少子高齢社会を乗り越えるカギとなるのが福祉の支え手である働き盛り世代の増加であるとの考えから、これからも教育・子育て支援に全力を尽くしてまいります。



